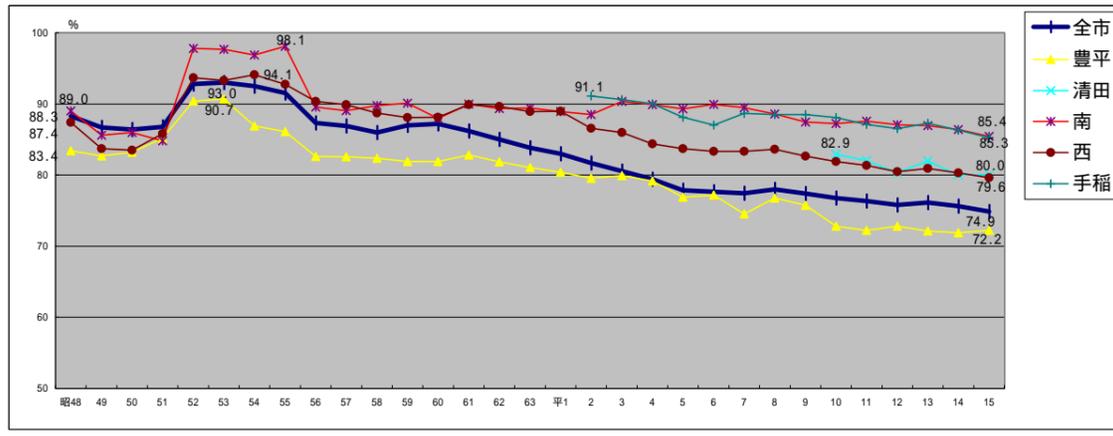
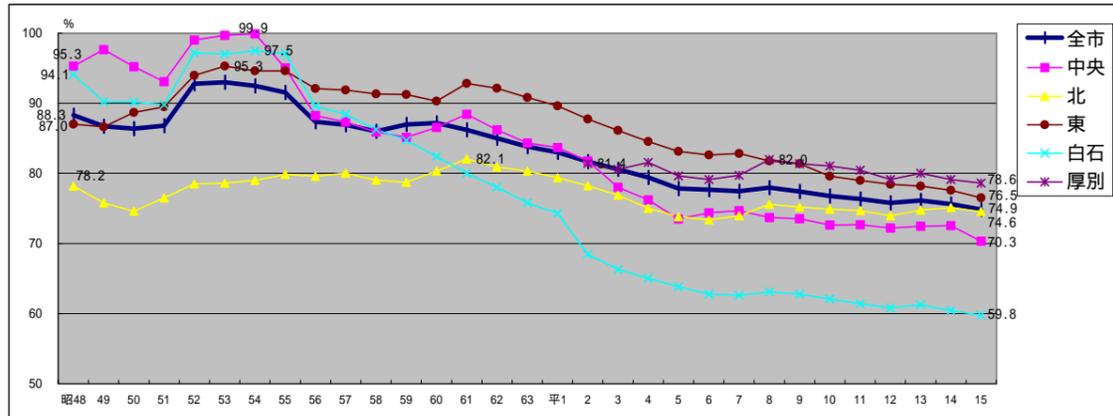
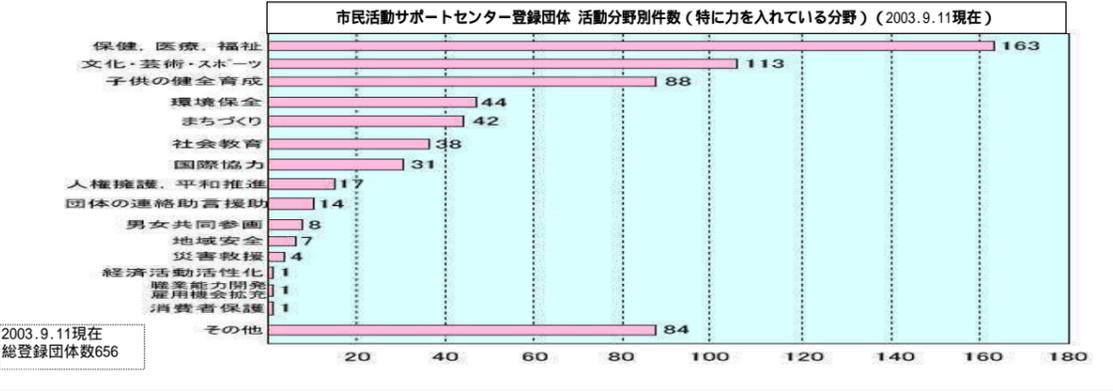


<1 各区分 町内会加入率の推移 札幌市市民局調べ>



<3 市民活動の状況 札幌市市民局調べ>



<4 地域のまちづくり団体の活動事例(既成市街地や地域の拠点となる地区のまちづくり)>

「JR白石駅周辺地区街づくり協議会」は、駅周辺のまちづくり活動をすすめるために平成11年1月に発足しました。JR白石駅舎の橋上化及び自由通路の整備や駅周辺の交通施設の整備などをめざし、地域のみなさんとまちづくりワークショップを開催したり、駅の整備についての先進事例視察や、情報誌を作成・配布するなど活発な活動を行ってきました。また、地域の活性化をめざした各種イベントの開催や、活動拠点となるまちづくりハウスの運営などを行っています。会員は地域の町内会や商店街の方々、地域でまちづくりや福祉の活動に取り組んでいる方々などで、平成15年5月現在、79名です。

苗穂駅周辺地区では、JR苗穂駅工場による南北分断の解消をきっかけとして平成3年からまちづくり活動が活発に行われており、まちづくり会議やワークショップの開催、地域マップ・情報誌の作成など、様々な活動を行ってきました。平成14年3月には、札幌市との共催のワークショップや、地域のみなさん全員を対象としたアンケート調査を行い、地域のみなさんと行政が共有するまちづくりの目標像である「JR苗穂駅周辺地区まちづくりガイドライン」を協働でまとめました。現在は、ガイドラインで示された住民の役割を実践するため、「苗穂駅周辺まちづくり協議会」を中心として、情報誌の配布、緑化・美化活動やイベント開催などの身近なまちづくりから、再開発の勉強会など、幅広い活動が行われています。会員は地域の町内会や商店街、企業の方々、地域でまちづくりや福祉の活動に取り組んでいる方々などです。

<2 今後の市民活動への参加意向 年代別分析 平成11年市政モニター調査から>

